

実施日：11月～12月	
領域：特別活動、	
取組名：情報モラル標語づくり	
対象：全学年	実施場所：但東中学校各教室
ア ねらい インターネットを利用する際に起こるトラブルやいじめに関心を持ち、人権尊重の視点に立って、インターネットのより良い利用の仕方や注意点について自ら考えようとする態度を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 「情報モラル標語を作ろう」 指導計画の通り、新聞記事を読み、事件の問題点やLINEを利用する際の注意点について自分の意見を書いたり仲間と意見交流をしたうえで、情報モラル標語を作った。 (指導略案) ① 今年の新聞記事[別紙①—1, ①—2]の中から子どもとインターネットに関わる事例を扱ったものを読ませる。 ② それぞれの事例について、自分の考えを整理する。 ③ それぞれの事例についてグループで意見を交流する。[別紙②] ④ 上記②や③をもとに標語を作る。[別紙③]	
ウ 連携先：校内研修部、道徳	
エ 連携にむけての取組 「表現力の育成」～言語活動と授業改善に焦点を当てて～が校内研修のテーマであるため、グループでの話し合いや意見の交流の場面で、「話し合いの仕方」「まとめ方」「発表の仕方」について共通理解している方法で生徒の考えを深めさせる。また「道徳」の授業との連携を図り、「思いやりの気持ち」や「相手の立場に立って考える」など、授業で学んだり考えたりしたことを標語の作成に生かせるように支援する。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 学校全体で「人権週間」を設定し、人権に関する話を読むことで人権意識を高めた上で標語の作成に取りかからせる。また「話し合いの仕方」「まとめ方」「発表の仕方」について指導者の共通理解を図る。作成した標語は学年ごとに掲示し、特に良いと思った作品について「振り返りシート」に書かせる。	
カ 評価の方法 ワークシート（問題点に気づけたか、注意点を考えられたか、情報モラル標語を作ることができたか）	
キ 成果 生徒たちは、今年自分たちと同世代の若者が被害者、加害者となった事件を知ること、真剣に学習に取り組むことができた。普段、自分も使っているLINEが凄惨な暴行と殺人に関わったことに衝撃を受けていたようだったが、顔も知らない相手とLINEでやりとりをすることや、インターネット上に相手の悪口を書き込むことの危険性を通じて、事件の問題点と楽しく安全にLINEを利用するための注意点について人権の視点から自分の考えを持つことができた。また、けんかをしている当人同士のやりとりを見て、けんかをあおったり、反対に止めたりする周りの存在についても考え、考えたことを班で交流することで、情報モラルや「思いやりの心」に関する考えを広げ、より多くのことに気づくことができた。そして、学んだことや考えたことを情報モラルの標語にすることができた。	
ク 課題 今後も情報モラルに関する事件や問題が起こる可能性は高く、生徒が事件に巻き込まれたり、加害者になる恐れもある。また、情報機器等を安全に利用するためには、最新の知識を持つておく必要もある。そこで、今回の学習をきっかけとして、人権意識をより高め、社会への関心を高めていくことが必要である。そしてニュース番組や新聞を通じて社会で起きていることを自ら知り、判断する態度をさらに育てたい。	

【別紙①—1】

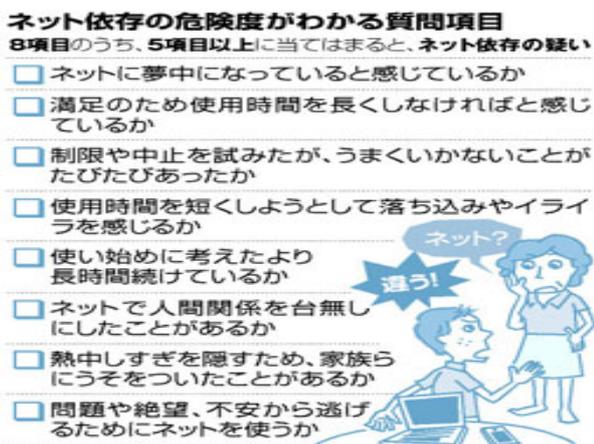
情報モラル標語を作ろう①

(2013年8月2日朝日新聞の記事をもとに指導)

＜記事の要旨＞

「中高生 52 万人ネット依存」

- ① 調査の概要：厚生労働省研究班が2012年の10月～2013年の3月にかけて全国の中学校140校と高校124校の約14万人を対象に実施した。これは中高生の ネット依存に関する初の全国規模の調査となる。
- ② ネット依存とは：インターネットの使いすぎで健康や暮らしに影響が出る状態。悪化すると食欲がなくなり、栄養失調になることもある。調査では「インターネットに夢中になっていると感じるか」、「使用をやめようとした時、落ち込みやイライラを感じるか」などの8項目を質問し、5項目以上に該当するものを「病的な使用」と認定した。8.1%が「病的な使用」と認定されこの結果からネット依存の中高生は約52万人とした。
- ③ ネット依存の影響：「病的な使用」とされた中高生のうち、「睡眠時間が6時間未満」と答えたのは43%、午前中の体調が「常に悪かった」「しばしば悪かった」と答えたものも24%にのぼり、いずれもネット依存していない人と比べて1.6～2.7倍高かった。
- ④ 研究班のコメント：「ネットを使うことは若者の文化になっている。健康的な使い方ができるよう指導や教育をしていく必要がある。」



① この記事で問題だと思うことに線を引いてみよう。(情報モラルに関して)

② インターネットを使うときに、どんなことに注意すれば良いだろうか。

③ 友だちの意見をメモしよう。

④ この記事を読んで考えたことや友だちの意見をもとにして、情報モラル標語を作ってみよう。

【別紙①—2】

情報モラル標語を作ろう②

(2013年7月24日朝日新聞の記事をもとに指導)

＜記事の要旨＞

2013年6月28日、21歳～16歳の男女7人は、16歳女子生徒を広島市中心部から車に乗せ監禁し、車内で集団で暴行し、約20キロ離れた呉市の灰ヶ峰方面へ移動。現金約4万2000円とキャッシュカードなどを奪い、16歳女子生徒を殺害し、呉市柘原町の山中に遺体を遺棄した。

7月12日午後1時10分頃、広島市東区に住む無職の16歳少女は、家族らに連れられて広島東署に出頭。広島県警は12日夕から灰ヶ峰を捜索し、13日午後5時20分頃、「灰ヶ峰公園」の東側の歩道を約20メートル入った山中の斜面で、若い女性の遺体を発見。14日未明、無職の16歳少女を死体遺棄容疑で逮捕。17日、広島県警呉署捜査本部は、21歳の男と、いずれも16歳の少年2人と少女3人の計6人を死体遺棄容疑で逮捕した。

広島市東区の少女(17)は昨年末から今年初めごろにかけて中区の少女(16)と知り合い、今年5月ごろ、インターネット上で知り合った熊本県荒尾市の少年(17)と交際を始めた。3人はこのころから、中区の少女方で、中区の少女の交際相手である米子市の少年(16)、鳥取県湯梨浜町別所の瀬戸大平被告(21)との計5人で共同生活を始めた。東区の少女は今年6月初旬ごろ、無料通信アプリLINE(ライン)を通じて、広島県安芸郡の少女(16)、呉市の少女(17)と知り合ったが、犯行の際に初めて対面した。少女は、被害者からLINE上で悪口を言われて怒りを募らせ、短絡的に監禁や暴行に及び、被害者への悪感情を晴らしたいなど自己中心的な動機で殺害した。

LINEをめぐる主ないじめや事件

6月	13日	福岡県那珂川町の中学サッカー部員4人が、中2男子に3回にわたり暴行を加え、「やめて」などと抵抗する動画をLINEで広める
7月	2日	山形県鶴岡市で、中学校の野球部員が、男子生徒の服を脱がせて写真を撮り、LINEで配布
	5日	奈良県橿原市で3月に自殺した中1女子が、同級生から仲間外れにされ、LINEに「うざい」などと書き込まれていたことが発覚
	14日	広島県呉市の山中に16歳少女の遺体を捨てたとして無職少女(16)を逮捕。「LINEに悪口を書かれ腹が立った」などと母親に話した
	19日	山形県酒田市の中学校で男子生徒2人が下級生を暴行。「3年生は怖くない」などとLINEに書き込んだことに腹を立てた
	24日	神戸市の中3男子(14)から現金を脅し取ったとして同級生ら3人を逮捕。LINEで「金を持ってこないとしばくぞ」などと脅迫した

※日付は逮捕や発覚した日。年齢は当時

① この事件で問題だと思うことに線を引いてみよう。(情報モラルに関して)

② ラインを使うときに、どんなことに注意すれば良いだろうか。

③ 友だちの意見をメモしよう。

④ この記事を読んで考えたことや友だちの意見をもとにして、情報モラル標語を作ってみよう。

## 【別紙②】

### 新聞記事を読んで考えたこと

#### 【LINEを使うときに、どんなことに注意すれば良いだろうか。】

- ・ LINEの中だからといってけんかはだめなことということを使う
- ・ 本気で殺すと思っていなくてもはやしたてない。
- ・ 自分が知らない人とはLINEをしない。
- ・ 知らない人と友達にならない。
- ・ 知らない人とLINEで深入りしない。
- ・ よくないことは書き込まない。
- ・ ケンカになるようなことは書き込まない
- ・ 言葉遣い
- ・ 人の悪口を書き込まない。
- ・ 人が嫌がるような書き込みをしない。
- ・ 相手の気持ちを考えて書く。
- ・ 相手が悪い意味で読み取ってしまう言葉を書くのをやめる。
- ・ けんかのやりとりを転送しない。
- ・ 顔を出さない。
- ・ 人の写真などをグループなどに公開しない。
- ・ ルールを守る。
- ・ 長い時間しない。
- ・ もし知らない人からメッセージが来ても、無視する。
- ・ 知らない人のコメントに勝手にコメントしない。
- ・ 個人情報を言わない。
- ・ 出会い系は無視する
- ・ 釣りには釣られない
- ・ けんかを見たら止める
- ・ 地雷発言をしない。
- ・ リア友以外友達を作らない。

### 【別紙③】

#### 【情報モラル標語】

- ・ 悪口を 書けばあなたに ばちあたる
- ・ 悪口を 書くのはだれも やめましょう
- ・ 楽しさの 中にいるんだ 闇の影
- ・ 自分たちが 選んだ言葉 伝えよう
- ・ LINEでの 言葉を信じるかは 自分次第
- ・ 目指そうよ みんなで平和な 世の中に
- ・ 人を殺して 何が楽しい？
- ・ やめようよ 相手が言われて いやなこと
- ・ 考えて 言って良いこと 悪いこと
- ・ それって迷惑行為じゃない？
- ・ だれなんだ 知らない人とは やめましょう
- ・ グループで 一人をせめる 悪い人
- ・ 出会い厨 見つけたらすぐ ブロックだ
- ・ LINEでね 知らない人は 無視しよう
- ・ LINEはね 使い方では 大事件
- ・ 考えよう 小さな悪口 苦しめる
- ・ ラインでも ケンカするのは よくないよ
- ・ 書き込みは 言葉遣いに気をつけて
- ・ ラインでは 悪口絶対 書き込まない
- ・ LINEでは ケンカはしない やめようね
- ・ ケンカがね おきたら止めよう こわがらず
- ・ 会ったこと ない人とは やらない・会わない
- ・ 正しく使うと とても楽しい ものになる
- ・ LINEでね スタンプトーク できちゃうよ
- ・ やめようよ 人の悪口 書き込みを
- ・ やめとこう 知らない人との かかわりを
- ・ 集団で 書き込み暴言 なくしたい
- ・ 「殺したる」 書き込み暴言 消えません！
- ・ 悪口は 書き込まないと 何も無い
- ・ LINEに 書き込むときは 気をつけよう
- ・ 書き込みは 危険いっぱい ひそんでる
- ・ ラインでの いけないことは 書き込むな
- ・ にくしみを 人にぶつけず 消しとばせ！！
- ・ 友達に 暴言はくのは やめようね
- ・ 考えて 地雷はやめよう プロフィール
- ・ 長時間 しているきみは 要注意
- ・ 書き込まない LINEの悪口 ストップだ
- ・ LINEはね 会ってない人とやっちゃだめ
- ・ ラインとは きずなを深める ためのもの
- ・ LINEとは きずなを深める 第一歩
- ・ LINEでの 悪口いじめの 第一歩 いますぐやめて さっと謝ろう
- ・ 「死ぬ」などの 悪口とびかう LINEはね 作った人は 望んでいない
- ・ ラインして いじめが発達 殺人に
- ・ ラインする 暴言を吐く ケンカする 殺人になる おそろしい